

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. 社会福祉法人として、利用者の満足を追求する
 - 1) 利用者の安心・信頼につながる対応
 - ・丁寧かつ適切な対応に努め、利用者との信頼関係構築を目指す。
 - ・利用者支援を充実させるための、部署内および部署間の情報共有・連携の方法について引き続き協議し、よりよい形を目指す。
 - 2) 安心・安全の保障
 - ・府中市とともに防災・防犯体制について協議し、非常時の役割分担などを確認し、緊急時に実効性のあるマニュアルを整備する。あわせて、職員のさらなる意識向上を目指し、防災・防犯訓練や研修の充実を図る。
 - ・感染症関連の情報収集に努め、利用者への啓発を行う。
2. 社会福祉法人として、家族支援・地域支援の拠点となる
 - 1) 利用者ニーズへの対応
 - ・各事業や行事实施時の利用者アンケートなどを通して、利用者の声に耳を傾け、事業の評価、必要に応じた見直しを行う。
 - 2) 利用者支援事業の充実
 - ・会議などを通して地域の関係機関との連携を強化する。
 - ・情報収集や利用者に伝わりやすい発信の方法を引き続き検討し、随時実行していく。
 - 3) 高齢施設との連携
 - ・府中市内3拠点の法人高齢施設と2拠点の児童施設の連絡会を開催し、職員の相互理解、地域の関係機関の理解を深めるための取り組みを実施する。
3. 社会福祉法人として核となる職員の定着・安心の実現
 - 1) 適切な組織体制の維持
 - ・リスク管理を念頭に置き、安定した事業運営が維持できるように職員体制を整備し、部署間での相互協力体制をとる。
 - 2) 継続して働ける環境づくり
 - ・業務の効率化に取り組むとともに、各職員の業務分担が適正であるかどうかを日常的に確認・調整していく。
 - ・職員が心身ともに健康に勤務できるように、職員がお互いに配慮し合える関係を維持できるようにする。
4. 社会福祉法人としての経営体制の確立
 - ・府中市からの委託料を有効活用できるように、適切な財務管理を行う。
 - ・事業が安定して運営できるように、現状と課題を明確にして府中市との協議に臨む。

施設の取組

1. 法人諸規程や事業の実施要綱などを理解し、それに応じた事業遂行に努める。
2. 職員それぞれが求められる役割を果たせるよう、職員同士の意見交換や相互啓発を活発にし、スキルアップを目指す。
3. 職員ひとりひとりが自信をもった業務遂行ができるように、機会を捉えたフィードバックを工夫していく。
4. 防犯・防災体制においては、緊急時に実効性のあるマニュアルを整備する。
5. 財務に関する大まかな流れなどを理解するための研修を実施し、部署内の予算管理などに意識をもって取り組む。

